

2. 情報バリアフリー・情報支援の大切さ

すいしんかいぎ しょうがい ひと
推進会議には、さまざまな障害のある人がいます。

かいぎ ないよう りかい じぶん かんが はつげん し
会議の内容を理解して、自分の考えていることを発言するために、いろいろな支
えん
援があります。

たとえば、知的障害のある人には、支援者がついています。会議の資料には、ふり
が な かいぎ なか つか いま なに
仮名がつけられています。また会議の中で、むずかしいことばが使われたり、今、何
はな
が話されているかわからないときには、「イエローカード」(下の写真を見てください
い) を使って、議長に伝えることができます。

みみ き はな ひと しゅ わ つうやくしゃ
耳が聞こえなくて、話されていることがわからない人のためには、手話通訳者や
つか なに はな じまく ひと ひつきしゃ
パソコンを使って、何が話されているかを字幕にする人(筆記者)がついています。
しゅ わ つうやくしゃ しゅ わ ひと しゅ わ ひと たが りかい て
手話通訳者は、手話ができる人と、手話ができない人がお互いに理解することを手
だす ひと め み みみ き もう しゃ ゆび てんじ
助けしてくれる人です。目が見えなくて、耳が聞こえない盲ろう者には、指に点字を
う つうやくしゃ
打つ通訳者がついています。

こうした、いろいろな障害に応じた対応(「合理的配慮」といいます)は、ぜんいん
かいぎ さんか か
会議に参加するためには欠かせません。

すいしんかいぎ ようす ないかく ふ ちゅう どう が み
推進会議の様子は内閣府のホームページ(注)の動画でも見られるようになって
います。動画にも字幕と手話があります。是非、ご覧ください。

※パソコンを持っていない、使うことがむずか
しい人は、住んでいる街の役所などに相談して
みてください。



すいしんかいぎ つちもとあきお こうせいじん
推進会議で土本秋夫構成員がイエロー
カードを出している様子

ちゅう
(注)

ないかく ふしょうがいしゃ し さく

内閣府障害者施策ホームページ

<http://www8.cao.go.jp/shougai/index.html>